



留萌市中期財政計画が始まります

市では、健全な財政運営を進めるため、平成28年度から5カ年の「留萌市中期財政計画」に取り組んでいきます。



中期財政計画を策定

平成21年度から市民・市議会・市が一体となって取り組んだ「新・留萌市財政健全化計画」は、財政健全化の着実な取り組みや良好な財政状況などにより、健全化判断比率の改善や財政調整基金などへの積み立てができたことから、計画どおり27年度をもって終了できる見込みとなりました。

これに伴って市では、健全で持続可能な財政運営を進めるための新たな指針となる「留萌市中期財政計画」を策定しました。この計画の対象範囲は一般会計ですが、特別会計や一部事務組合などの負債額の一部も含まれています。

5つの財政規律(基準)

留萌市中期財政計画では、規律ある財政運営を進めるため、「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」「市債発行額(事業債)の基準」「財政調整基金残高」の5つの財政規律(基準)を設定しています。(図1)

この規律を守ることで、過去に経験した財政の危機的状況に後戻りすることのないように財政の現状を正確に認識し、現状分析に基づいた健全で持続可能な財政運営に取り組んでいきます。

財政見通しについて

財政見通しの推計については、平成27年度一般会計決算見込みをベースとして、次の推計条件を実施した場合の計画期間の歳入と歳出を算出しています。(図2)

歳入と歳出の主な推計条件として、歳入では市民税や固定資産税、軽自動車税などの市税で全体的に減額を見込んでいます。地方交付税は人口減少などに伴う減額を見込み、また、市債は実質公債費比率への影響を考慮し、事業債発行額基準10億円、過疎対策事業債(ソフト事業分)1億円をそれぞれ見込んでいます。

一方の歳出では義務的経費のうち、職員給与費は財政健全化計画前に戻し、定員適正化計画に基づく職員数を反映しています。また、裁量的経費のうち、繰出金などは病院事業会計への基準内繰り出しを中心と

する約8億5千万円のほか、26年度単年度収支の赤字を考慮した5千万円を上積みし、国民健康保険事業特別会計は28年度のみ7千万円の繰り出しを反映し、一般行政経費では温水プール「ふるも」の夏季の学校授業を中心とした運営経費などを見込んで試算しています。

今後の取り組みについて

平成29年度から31年度までに合わせて1億8千万円の収支不足が見込まれます。この収支不足を解消するため、職員一人ひとりが前例にとらわれることなく各実施事業の分析・検証を行うほか、市税などの収納強化により、自主財源の確保に努めていきます。

また、財政調整基金は、財政規律にある標準財政規模の20%を上回る残高を確保しており、今後も財政規律を守りつつ基金の活用も視野に入れます。

留萌市中期財政計画の詳細については、市ホームページ(<http://www.e-rumoi.jp/>)をご覧ください。

図1 財政規律(基準)

①連結実質赤字比率

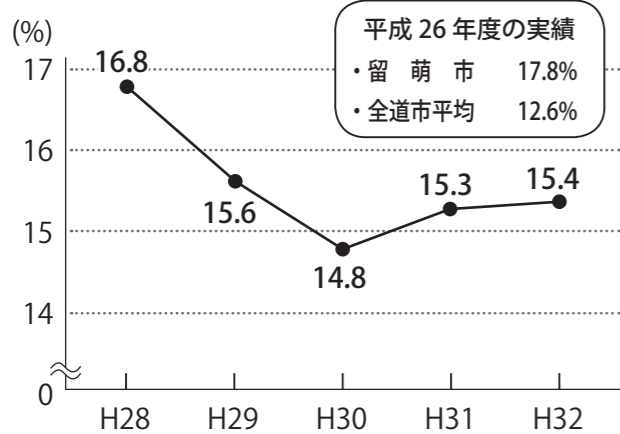
連結実質赤字比率とは、全ての会計を対象とした実質赤字額と資金の不足額の財政規模に対する比率です。平成22年度決算以降、連結実質赤字は発生していませんが、今後も全ての会計を通算して黒字を維持するよう努めます。

②実質公債費比率

実質公債費比率とは、一般会計で負担する地方債などの返済金の財政規模に対する比率です。

平成32年度の比率を16%以下になるよう目指し、将来的には全道市平均を目標とします。

●年度別 実質公債費比率

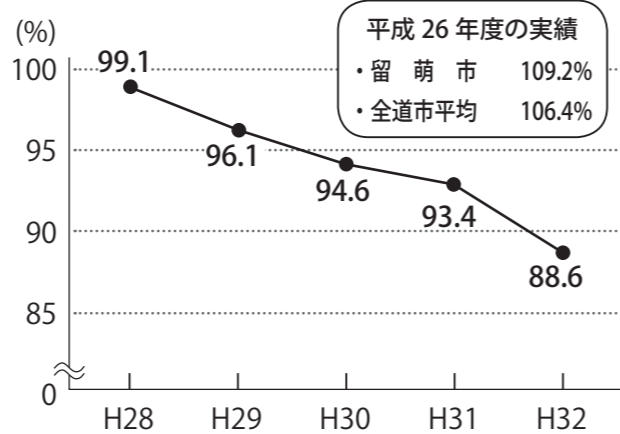


③将来負担比率

将来負担比率とは、一般会計などで将来負担する実質的な負債の財政規模に対する比率です。

負債総額の減少を目指し、現状以下の数値を目標とします。

●年度別 将来負担比率



④市債発行額(事業債)の基準

後年度の公債費負担の抑制を図るため、市債の発行額(一般会計分)の基準として投資事業については、単年ごとの市債発行額の目安を10億円とし、5カ年の市債発行額が総額50億円以内になるよう努めます。

※過疎対策事業債(ソフト事業分)は含みません。

⑤財政調整基金残高

国の制度改正などで収支が大幅に悪化し、連結実質赤字が市町村の早期健全化団体水準(標準財政規模比16.25~20%)になった場合でも、市民に多大な負担を強いることがないように標準財政規模の20%以上の残高を確保できるよう努めます。

図2 財政見通し

・財政見通しについては、毎年度5カ年分を作成するとともに、決算に基づいた公表を行うなど進行管理を実施します。(単位:百万円)

区分	平成27年度 決算見込み		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	総額	一般財源	総額	一般財源	総額	一般財源	総額	一般財源	総額	一般財源	総額	一般財源
歳入合計	14,260	9,011	13,606	8,737	13,612	8,636	13,516	8,525	13,529	8,511	13,477	8,487
歳出合計	14,178	8,929	13,579	8,710	13,662	8,686	13,521	8,530	13,654	8,636	13,471	8,481
義務的経費	5,675	3,708	5,818	3,852	5,749	3,764	5,592	3,595	5,711	3,688	5,479	3,505
裁量的経費	8,503	5,221	7,761	4,858	7,913	4,922	7,929	4,935	7,943	4,948	7,992	4,976
歳入歳出差引		82		27		▲50		▲5		▲125		6